



建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.2)

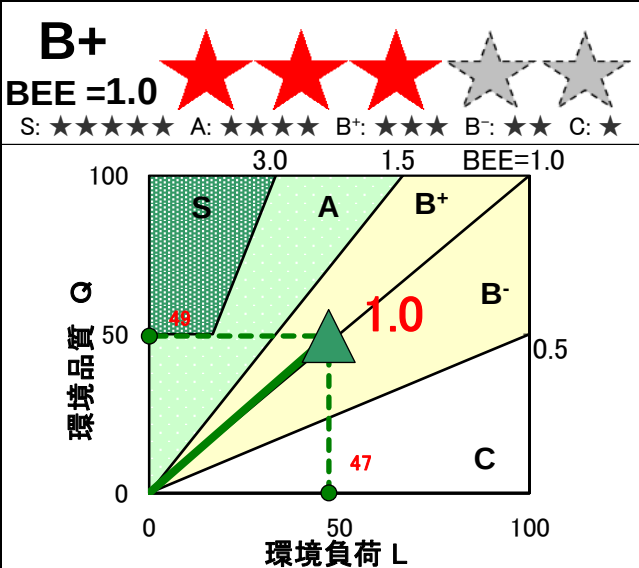
1-1 建物概要

建物名称	レジュールアッシュ蒲生		
建設地	城東区蒲生2丁目		
建築用途	共同住宅		
建築主	(株)ホームズ		
設計者	(株)NB建築計画事務所		
敷地面積	459.34	m ²	
建築面積	290.05	m ²	
延床面積	2,323.23	m ²	
構造/階数	RC造	/	地上10階
完了年(予定)	2022年3月		

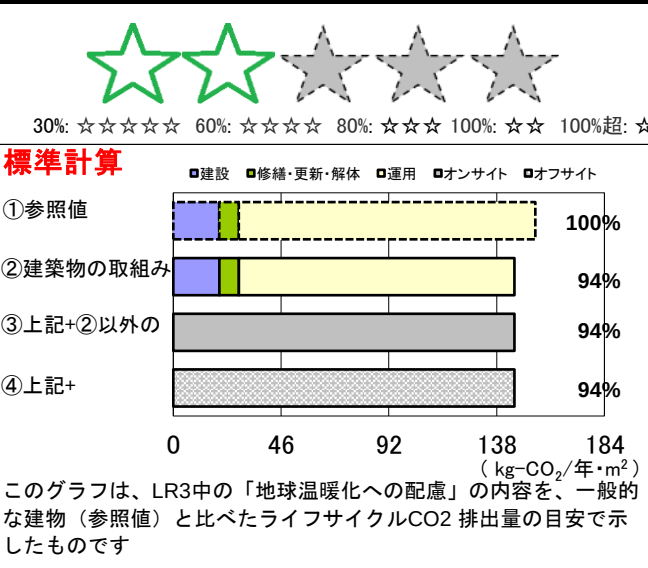
1-2 外観



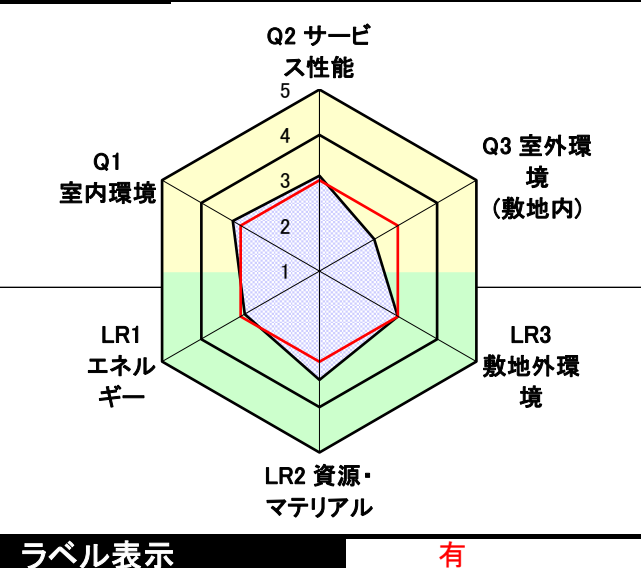
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



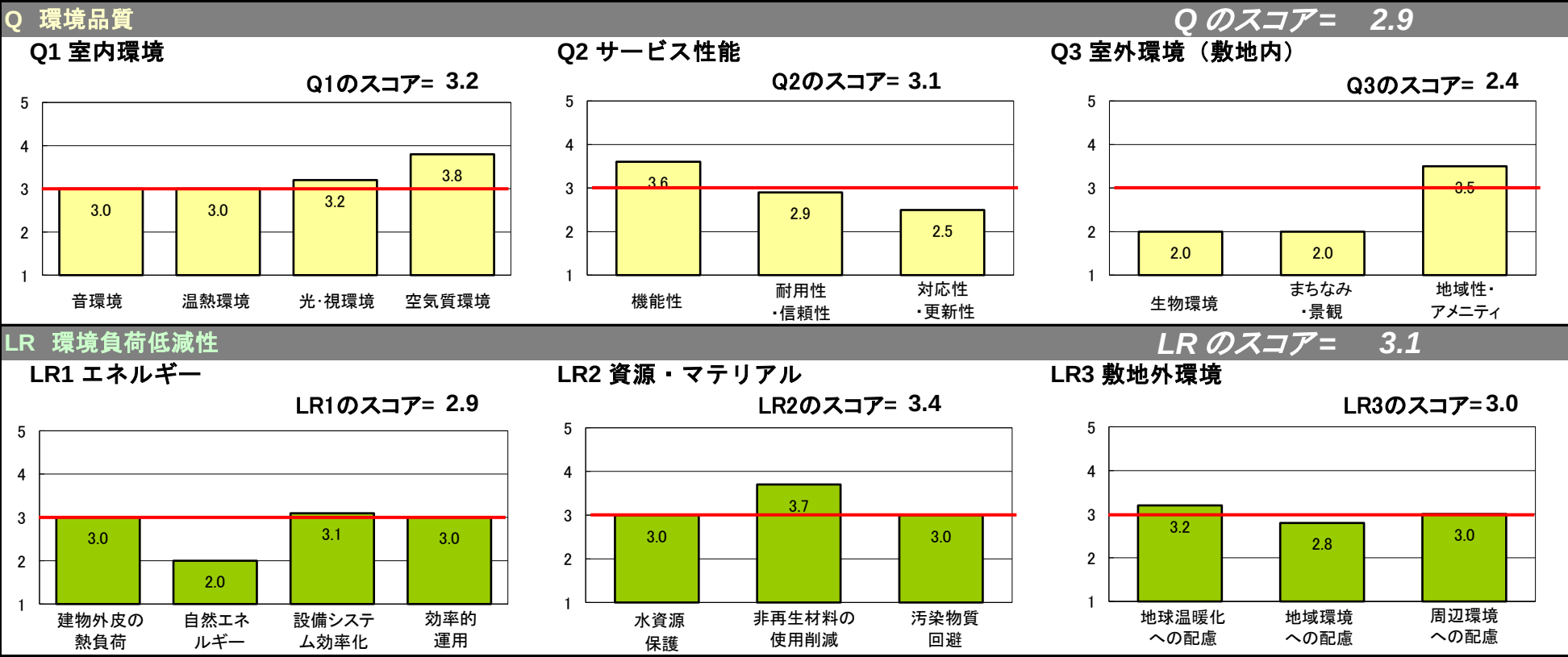
2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合 居室において昼光率5.8%、開口率0.31を確保し居住性に配慮した。		その他 特になし
Q1 室内環境 開口率0.31	Q2 サービス性能 主要な用途上位三種の2種以上にB以上を使用し、Eは不使用	Q3 室外環境(敷地内) ピロティにより日陰の形成に努めている
LR1 エネルギー BEI=0.99	LR2 資源・マテリアル 躯体と仕上げ材が容易に分別可能となっている	LR3 敷地外環境 特になし

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.0

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		3.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	3.2 LCCO2排出率による
配慮事項	設備からの排熱等に考慮した	

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		3.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	2.0 特になし
Q3 / 3 /3. 2/	敷地内温熱環境の向上	4.0 ピロティにより日陰の形成に努めている
LR3/ 2 /2. 2/	温熱環境悪化の改善	3.0 特になし
配慮事項	ピロティにより日陰の形成に努め極力緑地を配置した	

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		3.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	3.0 特になし
配慮事項	特になし	

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		3.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	3.1 特になし
配慮事項	特になし	

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	
--------	--

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4（相当）以上、非住宅部分が1.0以下であること
※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること（新築時）
（基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること）

外皮性能	住宅部分（品確法等級）	非住宅部分[BPI][BPI _m]	
	等級3（相当）	-	
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEI _m]	住宅部分[BEI]	非住宅部分[BEI][BEI _m]
	0.99	0.99	-

再生可能エネルギー利用設備導入検討シート（太陽光発電設備用）

1 設備導入の検討

① 周辺環境の把握

② 日照条件の検討

ア 検討対象とする場所	☒ 屋根部 地上高さ（ 30 ）m ☐ 地上部 （ ☐ 空地部分 ☐ その他 ） ☐ 壁面 ☐ その他 （ ）																				
イ アの周囲における日射遮蔽物	☒ なし ☐ あり <table border="1"> <tr> <td>方位</td> <td>（ ）</td> <td>高さ（約 ）m</td> <td>水平距離（約 ）m</td> </tr> <tr> <td>方位</td> <td>（ ）</td> <td>高さ（約 ）m</td> <td>水平距離（約 ）m</td> </tr> <tr> <td>方位</td> <td>（ ）</td> <td>高さ（約 ）m</td> <td>水平距離（約 ）m</td> </tr> <tr> <td>方位</td> <td>（ ）</td> <td>高さ（約 ）m</td> <td>水平距離（約 ）m</td> </tr> <tr> <td>方位</td> <td>（ ）</td> <td>高さ（約 ）m</td> <td>水平距離（約 ）m</td> </tr> </table>	方位	（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m	方位	（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m	方位	（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m	方位	（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m	方位	（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m
方位	（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m																		
方位	（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m																		
方位	（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m																		
方位	（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m																		
方位	（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m																		
ウ 日照の確保（冬至）	☒ 十分 ☐ 不十分																				

③ 日照条件に適合する場所の検討

ア 設置可能面積等	（ 20.0 ）m ² 方位（ 東 ） 設置角度（ 30 ）度
イ 設置可能太陽光パネル面積	（ 8.0 ）m ²
ウ 設置可能容量	（ 1.0 ）kw
エ 利用設備に対する荷重対策	☐ あり ☒ なし
オ 設置に備えた対応	☒ なし ☐ あり （例：設備用基礎の設置） （ ）

④ 導入判断

検討結果 ☐ 導入する →具体的な検討を行い、実際に設置する設備概要を 2 に記入

☒ 導入しない

導入を見送る理由（複数選択可）

- ☐ 日照が確保できない
☐ 躯体が荷重に対応できていない
☐ 敷地内に設置する場所を確保できない
☒ 費用負担が大きい
☐ 本計画では見送るが、将来対応可能とする
☐ その他 （ ）

2 導入する設備の概要

ア 太陽光パネル面積	（ ）m ²
イ 発電容量	（ ）kW

備考

注 2ア 太陽光パネル面積が、1③イ 設置可能太陽光パネル面積と大きく異なる場合、備考欄にその理由を記入してください。

再生可能エネルギー利用設備導入検討シート（太陽熱利用設備用）

1

設備導入の検討

①

周辺環境の把握

②

日照条件の検討

ア

検討対象とする場所

■

屋根部

地上高さ（

30

）m

□

地上部

（

□

空地部分

□

その他）

□

壁面

□

その他

（）

イ

アの周囲における日射遮蔽物

■

なし

□

あり

方位

（）

高さ（約）m

水平距離（約）m

方位

（）

高さ（約）m

水平距離（約）m

方位

（）

高さ（約）m

水平距離（約）m

方位

（）

高さ（約）m

水平距離（約）m

方位

（）

高さ（約）m

水平距離（約）m

ウ

日照の確保（冬至）

■

十分

□

不十分

③

熱需要の条件等の検討

ア

建築物の用途

共同住宅

イ

熱需要対象用途

□

冷房

□

暖房

■

給湯

□

その他

（）

ウ

設置可能面積

（

20.0

）㎡

エ

概算年間熱利用量

（

17,416

）MJ/年

オ

利用設備に対する荷重対策

□

あり

■

なし

カ

設置に備えた対応

■

なし

□

あり

（例：設備用基礎の設置）

（）

④

導入判断

検討結果

□

導入する

→具体的な検討を行い、実際に設置する設備概要を2に記入

■

導入しない

導入を見送る理由（複数選択可）

□

日照が確保できない

□

年間を通じて安定した熱需要がない

□

躯体が荷重に対応できていない

□

敷地内に設置する場所を確保できない

■

費用負担が大きいの

□

本計画では見送るが、将来対応可能とする

□

その他

（）

2

導入する設備の概要

ア

集熱パネル面積

（）㎡

イ

概算年間熱利用量

（）MJ/年

ウ

熱需要対象用途

□

冷房

□

暖房

□

給湯

□

その他

（）

備考